

災害記事の変遷を知ろう

～特定の日にちから災害を考える～

E-1-1-7
東日本大
震災

【 対象 】 一般教員、司書教諭、司書、児童・生徒
一般 他

【 時間 】 50分

【 会場 】 会議室、教室、多目的ルーム、など

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 付箋・大きめの紙など
模造紙を掲示する場所
キット 東日本大震災 8-1-1-1 8-1-1-2

【 講師 】
不要だが、地元新聞社
などに協力を依頼して
もいいたろう。

【 活動の流れ 】

- ① 掲示された3月11日の新聞の1面を見る。
新聞社・年の異なるもの・地域の異なるものを掲示。
*全国紙でも東京本社・大阪本社などがあれば入れる。
*東北地方のものがあるとよい。
(今年度のものは関連する地方新聞社に依頼してみるとよい。)
- ② 東日本大震災の記事が一面のどこにあるかを調べる。付箋に見出しと位置をメモし、大きな紙に貼る。発刊年月日を明記する。
- ③ 地方版を見て、②と同じ作業をする。
- ④ 記事の扱いの違いを発表し、意見を交換する。
- ⑤ わかったことや感想を付箋に書き、②に貼り、掲示する。

【 その他 】 地域によって記事の扱いが違うことを学びます。なぜ、取り上げられないのかを考察させるために、掲載されていない新聞も除外しません。地域学習にもつながります。